

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.195

2019. 11. 1

川崎市への令和2年度予算要望を終えて

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



令和元年8月20日(火)「令和2年度予算要望書」を川崎市へ提出いたしました。

近年、人手不足でグループホームやショートステイの運営ができないと聞くことが多くなりました。今年度は、多くの要望に関係する「人材の確保と育成」について、特に強く要望いたしました。

私たちの子どもには、障害を理解した多くの支援が必要です。当会は今まで、施設の建設等を要望してまいりました。「川崎市福祉センター跡地」や「平間配水所跡地」など計画が進んでいます。しかし、新規開設予定のショートステイは職員が集まらず、開所予定が遅れています。また、通所先の担当職員が転勤後、退所を余儀なくされた、との話もありました。事業所の職員の体制が整わない状況もあり、利用者に負担がかかっている例も聞かれます。グループホームについては、計画の7割程度になっています。

《要望内容》

1. 特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続並びに通所施設や就労先などになじめず在宅で引きこもりがちの人に対する支援の強化
2. 特別割引用交通系ICカード導入について
3. 人材の確保と育成について
4. 障害者の高齢化と家族の高齢化に向けた取組み
5. 地域生活を支える保健、医療、福祉サービスの拡充
6. 障害者理解を深めるための啓発の積極的な推進
7. 障害者の所得保障（年金の保障、就労支援制度の拡充）
8. 災害時一次避難所の運営の再検討

他

地域生活支援拠点施設の建設や相談支援体制の充実など継続要望も多い中、なかなか計画が進まない現状があります。しかし、諦めずに要望していきます。一人の困りごとは多くの方々の困りごとにつながります。会員の皆様の声をお聞かせください。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



川崎市育成会 手をむすぶ親の会
(知的障害者親の会)



各委員会の活動紹介

◆運営委員会

副会長 吉野 明美

運営委員会(総務委員会)を月に1回開催しています。構成員は、川崎市内の7つの行政区と支援学校の支部長、各委員会委員長と三役です。



障害者の一人ひとりが親なき後も安心して暮らせる支援体制の充実を、行政や川崎市議会議員団に働きかけています。そのために、各支部より要望を取りまとめています。

また、各区・各委員会の活動の報告を受け、少しでも障害のある子とその家族を取り巻く環境が整うように話し合っています。

そして、全国手をつなぐ育成会連合会・厚生労働省をはじめ障害福祉に関連する記事・情報にアンテナを張り、会の皆さんにお知らせできるようにしています。

会員の皆さんの声が活動の後押しになっていますので、ご意見をお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。

◆権利擁護委員会の紹介

権利擁護委員長 仁尾 智都子

今年度、当委員会では、知的障害のある人への理解を広めるために、「かわさきキャラバン隊」を立ち上げました。また、「あんしんノート」も記入しやすい形式に改訂しました。



11月20日(水)の研修会では、「合理的配慮」について堀江先生に具体例をお話していただきます。幅広い事業に、委員全員で懸命に取り組んでいます。



～「あんしんノート」ホームページ掲載のお知らせ～

「あんしんノート」をより記入しやすく見やすいものに改訂し、当会のホームページに掲載しました。プリントアウトして記入するタイプと、パソコン画面から直接入力するタイプがあります。また、「パソコンは……」という方には、12月10日(火)のおしゃべり塾で印刷したものを頒布いたします。ぜひ、ご活用ください。

詳細は、「おしゃべり塾」のチラシをご覧ください。

(権利擁護委員会)

◆広報委員会の紹介

広報委員長 三浦 ルイ子

第3回広報委員会では、今号「育成会かわさき195号」の掲載記事の内容とページ構成について話し合いました。

また、次号「196号」では、「成人を祝う会」と「関ブロさいたま大会」が開催されることもあり、ページ数を増やすことも決まりました。広報委員一同、楽しみながら、見やすい、読みやすい広報紙を作っていきたいと思っております。



◆余暇活動委員会

余暇活動委員長 角田三津子

私たちの委員会は、7月は海水訓練、9月または10月に緑陰訓練、3月は春のレクリエーションを企画し、募集を行っています。会員の皆様のご意見やご要望を参考に、親子で楽しめる海水浴やバス旅行を考えています。これからも委員の和を大切にして、皆様に喜んでいただける企画を考えたいと思っています。



◆研修事業推進委員会

研修事業推進委員長 太田 理佐

研修事業推進委員会では、年2回の研修会と民生委員・児童委員との意見交換会を行っています。近年の会のテーマ、目的などを紹介します。



①行政関係者との研修会

- ・大規模災害に、障害児者が備えるために
～熊本地震における状況から考える～

- ・サイバー社会で大人が子どもたちを守るためにできること

目的:行政関係者から知的障害児者への対応をそれぞれの分野でどう行っているかを知る。社会の一員として暮らす知的障害児者の親・支援者の困り事を知っていただく。

②やまゆり知的障害児者生活サポート協会との研修会

- ・親なき後も、知的障害者が安心して暮らすためのお金について
- ・知的障害のある人が必要な支援を受け続けるために
～障害福祉サービスから介護サービスへの移行～

目的:知的障害児者の安心・安全な生活のため、実際に知っておきたいお金のこと、制度について情報を発信する。会員の不安を軽減する。

③民生委員・児童委員との意見交換会(今年度は、民生委員の改選のため行わない)

川崎市各区から2名の民生委員・児童委員と当会各支部2名の40名程度で集い

- ・災害時での知的障害児者への対応、特徴も含め身近な話題も交えて地域力を高める試みをしている。

研修会を企画・準備するにあたり、よりよいものになるよう研修委員会で話し合いを重ねています。

やまゆりとの共催研修会のお知らせ

～テーマ 意思決定支援について(仮)～

日 時 令和2年3月3日(火) 10時15分～12時
場 所 てくのかわさきホール2F
講 師 野澤 和弘 氏



「令和2年 成人を祝う会」のお知らせ

日 時 令和2年1月18日(土) 12時30分(成人受付)～15時40分
場 所 川崎市民プラザ
主 催 成人を祝う会実行委員会



海水訓練（海水浴）のつどい

宮前支部 小澤 千枝

7月24日(水)海水訓練が行われました。今年は梅雨が長く天気が心配されましたが、当日は夏らしい青空の海水浴日和となりました。参加人数はボランティアさん(男性8名、女性2名)を含め計69名。「海ほたる」で合流し、福祉バス2台で千葉県勝浦に向かいました。途中、道の駅で買い物をし「ホテル三日月」に到着。昼食のあと、水着に着替えて勝浦中央海水浴場へ。新しいレジャー施設ができて例年よりも賑わう中、皆さんそれぞれのペースで泳いだり、浮輪で浮いたりして楽しみました。また、ホテルでゆっくり過ごされた方もいました。



そして、太平洋を望む温泉で日頃の疲れをとってから、勝浦を後にしました。海産物のお店でお土産を買い、「海ほたる」から分かれて一路川崎に帰りました。

今年もボランティアさんにたくさんの支援をして頂いたことに感謝します。

緑陰訓練（茨城県）筑波宇宙センターとめんたいパーク大洗&ぶどう狩り

麻生支部 小林 ゆら



9月28日(土)お天気に恵まれ、参加者76名は、3台のバスで出発しました。はじめに筑波宇宙センターを見学しました。まず50mの本物のロケットの前で記念撮影。展示館「スペースドーム」を自由見学。目玉の国際宇宙ステーションの「きぼう」の日本の実験棟実物大モデルは圧巻でした。この宇宙ステーションへの補給機「こうのとり」の試験モデル展示や、テレビドラマに出た「下町ロケット」があったり、顔出し宇宙服で記念撮影したりと回り切れませんでした。昼食を大洗イエローポートでいただいた後、かねふくのめんたいパーク大洗へ。明太子を試食し、袋入りのめんたいポテトチップをいただきました。

その後、千代田へ向かい、ぶどう狩りをしました。そこで、「あっ、ミッキーだ!!」の声。3粒のぶどうの房が、私たちにも、ミッキーに見えました。ちょっと季節外れのぶどう狩りを最後に、楽しい一日を終えました。

令和元年度川崎市障害者作品展開催&出展作品募集のお知らせ

障害者が創作した作品を広く一般に公開することにより、文化交流及び障害者の社会参加推進を図り福祉の向上に寄与することを目的に開催します。

会 場 川崎市アートガーデンかわさき 第3展示室

展示期日 令和元年12月18日(水)～令和元年12月22日(日)

主 催 川崎市・川崎市障害者社会参加推進センター

応募資格 原則として市内在住・在勤・在学の障害児者(グループも可)

出品物等 当作品展に出展したことの無いもの

1部門につき1人1点(絵画、写真、書、手工芸、俳句・短歌、等)

申込期日 令和元年11月1日(金)～令和元年11月22日(金)

規格や申込み方法など、詳しい要綱につきましてはチラシをご覧ください。

《問い合わせ先》

川崎市障害者社会参加推進センター

〒210-0834 川崎市川崎区大島1-8-6

電話 044-246-6941 F A X 044-246-6943

メール zksk@nifty.com



平成30年度作品展

川崎市議会議員団との懇談会

副会長 吉野 明美

令和2年度の予算要望に取り上げていただくため、今年度も7月に川崎市議会議員の各会派の皆さんと懇談をさせていただきました。16日(火)みらい市議団、23日(火)公明党市議団、29日(月)チーム無所属市議団、30日(火)日本共産党市議団に時間を設けていただき、当会からは、三役、各支部代表が参加しました。



民主みらい 市議団の皆様



公明党 市議団の皆様

グループホームの整備・短期入所の拡充・各区に地域生活拠点施設の建設・災害時避難所等については継続という形で要望しましたが、今年は特別支援学校卒業後の在宅ゼロに合わせて、通所施設や就労先になじめず、在宅になり引きこもりがちの人に対する支援の強化を要望しました。とりわけ人材の確保・育成につながる手立てが必要であると、お話させていただきました。いずれも熱心に耳を傾けていただき、委員会や議会で質問し、問題提起してくださるとのことです。要望が実現されることを願います。

また、当会で今年度発足した知的障害者啓発キャラバン隊「かわさきキャラバン隊」の活動に、ご支援いただけるようお願いしてきました。



チーム無所属 市議団の皆様



共産党 市議団の皆様

令和元年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会

『知的障害のある人が必要な支援を受け続けるために』

～障害福祉サービスから介護サービスへの移行について～

講師 又村 あおい 氏



9月30日(月)岩間市民プラザホールにて、やまゆり研修会が開催されました。障害のある人が、65歳になると、障害福祉サービスよりも、介護保険が優先的に適用されます。けれども、一律に介護保険を優先的に適用するというものではありません。介護保険サービスには相当するものがない障害福祉サービス固有のもの(同行援護、行動援護、自立支援、就労移行支援、就労継続支援等)は当該障害福祉サービスに係る介護給付等を支給することになっています。介護保険で使えるサービスがあるのなら介護保険を使います。介護保険で使えない場合は、障害の給付を行うのです。本人の望む暮らしは、本人が中心になって決めます。自分の意思のない人はいません。決められないのではなく決めるためのお手伝いが足りないのです。本人の思いをどのようにキャッチして支援につないでいくかが大切です。

高齢の障害者に対する支援として、共生型サービスがあります。これは、障害福祉サービス事業所が介護保険のサービスを行える仕組みです。今までの施設で介護保険のサービスが受けられるので、今までと何も変わりませんが、介護保険の手続きが必要です。介護保険は1割負担ですが、共生型が整えば、同じ場所で同じ支援が受けられ、お金は後で戻ってきます。ただし、共生型サービスはあまり進んでいません。

これからは、少子高齢人口減少社会です。ちゃんと、週に5日通えるか?とか、住まいの確保ができていないのかとか、も課題です。特に賃貸住宅は、障害者や高齢者には、なかなか貸してくれません。啓発活動を通して知的・発達障害を知ってもらうことも重要なことです。障害者も親も安心して暮らせる社会のために、私たちの力が必要とされているのではないのでしょうか。

(高山 君子)

支部通信

おしゃべり多摩



多摩支部 神田 明子

9月11日(水) おしゃべり多摩を福祉パルたまで行いました。9月8日から9日までの台風の時、午前中電車が運休したため就労先への通勤に子どもさんが苦労したこと、職員さんも通勤できず送迎車は止まり通所が大変だったという話題から、はるか昔の保育所を希望した時の申込方法や検診についての思い出を、楽しく語りました。次回は11月27日(水)10時30分より場所は福祉パルたまです。皆様是非いらして下さい。お待ちしております。

自由投稿

多摩支部 神田 明子

多摩区に昨年オープンした障がい者短期入所施設「つむぎ」を紹介いたします。短期入所施設は大きな施設が多い中、こちらは一軒家を改装した施設でお隣のお家に遊びに行ったような、またグループホームに住んでいるような体験を子どもたちがイメージできるのではないかと思います。



川崎スポーツの会(私たちの広場)・日帰りバス研修会

支援者 大橋 和之

令和元年9月8日(日)プリッツやポッキーを作っている、埼玉県のグリコピア・イーストの工場見学をしました。入場は入替制で少し早く着いたので、工場正面の“グリコショップ”に入りました。皆さんここでしか買えないお菓子などのおみやげを購入していました。



見学を予約した時間になり、いよいよ入場です。スタッフから流れの説明後、ビデオでグリコの歴史について理解を深めてから、工場ラインの見学、クイズ大会、となりました。工場見学では、日曜日で停止中のラインは動画を使って説明していました。クイズ大会ではテーマパークのアトラクションさながらのセットで2人一組になり、目の前のボタンを押して回答し、正解数やボタンを押す速さまでを計算して順位

が決まりました。「川崎スポーツの会」からはトップ賞は出ませんでした。全員が楽しく参加する事ができました。その後、関越道花園インター近くのお菓子やパンを中心に販売している花園フォレストへバスで移動し、パン屋・施設内のバイキング・そば屋と3つのチームに分かれて、お昼ご飯を食べました。帰りは渋滞で疲れましたが、自分たちで色々話し合っただけで決めた旅行行程を実現し、満足度高い一日となりました。

※「川崎スポーツの会」とは、川崎市の本人の会交流会のことをいい、現在「私たちの広場」と「優友会」の2団体が所属しています。



賛助会費 (順不同・敬称略)

高井 美恵子	幸区南加瀬	30,000 円	高麗 喜久江	幸区鹿島田	5,000 円
仁尾 智都子	幸区鹿島田	5,000 円	匿名	中原区	10,000 円
角田 政行	幸区下平間	20,000 円	藤屋 洋子	多摩区长尾	5,000 円

*1,000 円以上の方を記載しています。

川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告
 《令和元年7月18日～令和元年10月16日まで》

＜各種会議、行事＞

7月24日(水)	海水訓練	千葉県勝浦
8月6日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
8月20日(火)	川崎市への要望書提出	ソリッドスクエア
21日(水)	第3回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
27日(火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
28日(水)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
9月3日(火)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
18日(水)	第5回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
27日(金)	第3回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
28日(土)	緑陰訓練	茨城県宇宙センター他
10月2日(水)	第4回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
4日(金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
16日(水)	第6回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

＜対外行事＞

7月16日(火)	みらいとの懇談会	市役所第2庁舎
18日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
23日(火)	公明党との政策懇談会	市役所第2庁舎
29日(月)	チーム無所属との意見交換会	市役所第2庁舎
30日(火)	日本共産党との懇談会	市役所第2庁舎
8月9日(金)	第2回川崎市社協障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
15日(木)	障害者支援区分認定審査会(市合議体)	ソリッドスクエア
23日(金)	障害者社会参加推進協議会	南部身体障害者福祉会館
25日(日)	川崎市肢体不自由児者父母の会連合会総会	会館「とどろき」
28日(水)	川崎市障害者施策審議会	ソリッドスクエア
29日(木)	川崎市社会福祉協議会評議委員会	川崎市総合福祉センター
29日(木)	川崎市障害者作品展実行委員会	南部身体障害者福祉会館
9月10日(火)	関ブロ代表者会議	さいたま市浦和
19日(木)	令和元年成人を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
10月3日(木)	関ブロ代表者会議	さいたま市浦和
9日(水)	川崎市バリアフリー調整会議委員会	市役所第4庁舎

2019年度版

生活サポート総合補償制度

普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・補火・津波危険補償特約セット)

被保険者

(補償の対象者)

知的障害児者または自閉症児者のご加入できます。

補償期間

(保険のご契約期間)

2019年4月1日から
1年間

掛金

入院2日目から補償プランB
掛金… **23,000円**(保険料19,810円)

入院4日目から補償プランA
掛金… **17,000円**(保険料14,810円)

詳細は担当代理店・届者または引受保険会社にお問い合わせください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

■ 担当代理店・届者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ 引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご加入のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2018年11月現在の内容です。(D-003489 2019.11)

※令和1年10月1日現在ご加入者は9,440余名です。毎月1日付で加入できます。今年度もご加入よろしくお願ひします



編集後記

今号は、運営委員会や各委員会の様子をお知らせし、身近な話題を提供できたかなと、思います。この広報紙では、障害のある人を取り巻く身近な出来事を「つぶやき」というタイトルで掲載しています。毎日の生活の中で何か感じることなどありましたら、ぜひ、広報委員までお知らせください。よろしく願いいたします。(仁尾 智都子)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 《194号記事訂正のお知らせ》 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

P.2 支部代表者電話番号 宮前支部小澤千枝 TEL090-9233-1624→090-9233-1627 に訂正ください。

【も く じ】

- P. 1 ... 市への要望書提出
- P. 2 ... 各委員会の活動紹介・運営委員会・権利擁護委員会・広報委員会
- P. 3 ... 各委員会の紹介・余暇活動委員会・研修事業推進委員会／研修会のお知らせ／令和2年成人を祝う会のお知らせ
- P. 4 ... 海水訓練のつどい／緑陰訓練／障害者作品展開催と作品募集のお知らせ
- P. 5 ... 川崎市議団との懇談会／やまゆり生活サポート協会研修会
- P. 6 ... 支部通信／自由投稿／私たちの広場／賛助会費
- P. 7 ... 親の会活動報告／やまゆり広告
- P. 8 ... 緑陰訓練写真掲載／編集後記／記事訂正のお知らせ／もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
 TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>